

◆関東羈旅（カントウキリョ） No43
シャトーカミヤ(茨城県牛久市)

神谷傳兵衛記念館

10 月最初の日曜日、秋の風景を探して歩こうと茨城県の牛久市を散策しました。JR 常磐線「牛久駅」で下車し、日本初の本格的ワイナリー「シャトーカミヤ」が駅から近いというので向かうことにしました。

途中の歩道橋広場には日時計に佇む河童の像があり、徒歩 5 分ほどで「シャトーカミヤ」に到着しました。レンガ造りの本館は、1903(明治 36)年に建てられた欧風のしゃれた時計台がアクセントになっています。秋の涼やかな風が妙に心地良く、外国に居るような雰囲気でした。本館奥にあるワインセラーは売店も兼ねており、創設者「神谷傳兵衛記念館」も見学ができました。

川柳・シャトーカミヤにて

- ・日時計に 時間気にせぬ 河童かな
- ・陽だまりに ワイン楽しむ ひとりだけ
- ・おしゃれ過ぎ レンガ造りの ワイナリー

河童の碑と雲魚亭(うんぎょてい)

大樽が並ぶ醸造場は「最初期の本格的ワイン醸造施設」として本館・貯蔵庫と共に 2008(平成 20)年に国の重要文化財に指定されたそうです。近代的な工場とは違う昔懐かしい雰囲気のワイナリーに、明治時代の面影を感じることができました。

その後、牛久沼の畔にある河童の碑と、河童の絵で有名な日本画壇の巨匠「小川芋銭(うせん)」のアトリエ「雲魚亭」を訪ねました。河童の碑まで建てられた芋銭ですが、自分の絵が芋を買う銭になればとの思いから画号を「芋銭」にしたそうで、芋銭の長年の苦労が伝わってくるようでした。雲魚亭の裏手にある河童の碑には、一人淋しくすねているような河童が描かれており、芋銭の生活と河童の心情が重なって見えるようでした。

- ・酒樽に ブドウの年季 閉じ込めて
- ・人恋し 沼のほとりで 引きこもり
- ・芋煮会 河童と楽しむ 雲魚亭

うな井と大仏

牛久沼は江戸時代後期、「うな井」発祥の地とも言われ、国道 6 号線沿いは「うなぎ街道」と呼ばれています。夕飯には早いと思いながらも沼の畔にある川魚料理の店「舞鶴家」でうな井を注文しました。上品な薄味のタレがしつこくなく、おいしくいただきました。メニューを見ると「鯉こく」「鯉のあらい」「タニシ」などの珍しい川魚料理が並んでいます。いつか機会があれば注文してみようと思いました。

帰路の途中で、立像の高さが世界で 2 番目という「牛久大仏」を訪ねました。高さ 120 メートルの牛久大仏は 1993(平成 5)年に完成し、自由の女神の 3 倍近くの高さのことです。訪ねた時

には小雨模様のため、時折、雨雲が大仏の顔を覆っていました。奈良や鎌倉の大仏を訪ねたことがないので、初めて見る大仏の大きさに圧倒されました。
かなりの距離を歩きましたが、ワインとうなぎと大仏に、秋の風景の散策を満喫することができました。

- ・うな丼に 秋の収穫 感じ入り
- ・水鳥に ゆるい秋風 牛久沼
- ・高すぎて 雲に隠れる 仏顔

「海員だより」